



勇気をもって一歩前へ！ ～どんな状況でも新たにことに挑戦する哲学～

理学療法士として総合病院に勤務しながら、TBS 特別番組 SASUKE に参加し、2021 年唯一ファイナルステージに進出した多田竜也先生が、当会会長の曷川元先生と対談を行いました。SASUKE の舞台裏や努力を続けるためのコツをお話いただきました。

曷川 多田先生、昨年末は SASUKE お疲れ様でした。ファイナルステージ進出、感動しました！

多田 ありがとうございます。緊張しました。

曷川 仕事をしながらで SASUKE の練習は大変だと思うんですけど、どのようにされていたんです？

多田 今は子どもがいるので、朝や、仕事帰りに短時間だけしたり、残業したときは病院の階段を使うようにとかしていました。

曷川 手はよく怪我をされるとのことなんですが、やっぱり手や指先は硬いんですか？

多田 そんなことないですよ。職業柄、患者さんに触れるのでキレイにする様に心がけています。手の皮がめくれたら、ドライヤーで乾かしたり、接着剤で加工して、やすりで削ってなめらかにして、その上から手袋をしたりしています。

曷川 多田先生も挫折しそうになったり、嫌になるときがあったと思うんです。そんなときにどう乗り越えられたんです？

多田 出会った人のことを思い出しますね。自分の原動力が何かと振り返った時に、今まで出会った方々というのが出てきて、その時にもう少しだけ頑張ろうと思いました。

曷川 やっぱり色々な人のコミュニティに行くということが良いんでしょうね。

多田 相談できる人がいるのかということ、そういう場所に行ってみることが大事だと思いますね。

曷川 出会いを大切になさっておられますけど、こまめに連絡をとるための工夫は何かされていますか？

多田 こまめに連絡というよりも、一回に会う密度というか機会を大事にした方がいいんじゃないかなと思います。会って、感謝をしっかりと口で伝えるというのが大切だと思います。

曷川 ありがとうございます。今年も年末が楽しみです。応援しています。



●多田 竜也

山形県山辺町出身。現在、理学療法士として山形県内の総合病院に勤務しながら、毎年、身体を鍛え、TBS テレビ番組 SASUKE への出場を果たしている。14 歳から出場し、2021 年の第 39 回大会では最優秀成績者となっている。